

第3分科会

テーマ：河川改修等における工夫事例 ～景観形成、自然再生、生態系ネットワークの形成～

No.	題名	地方ブロック	水系名 河川名	直轄／補助 (級別)	河川概要				発表者	所属部署		事業の概要
					河川の 流域面積	河川分類	整備計画流量※1	セグメント※ 1		機 関	部・事務所	
1	網走川下流部における景観に配慮した河岸保護工について	北海道	網走川水系 網走川	直轄(1級)	1380 km ²	大河川	330m ³ /s (W=1/40)	2-2	コバヤシ 小林 ヨウジ 要士	北海道開発局	網走開発建設部 北見河川事務所	・網走川市街を貫流する網走川は多くのサケやワカサギが遡上し、ヤマトシジミが繁殖するなど自然に恵まれ、川沿いに網走刑務所など観光地が点在している。 ・網走刑務所に隣接する河岸保護工のやり替えに際し、自然環境や景観を保全するために設計・施工の各段階で工夫した取組を紹介する。
2	市街地を流れる中小河川における環境及び景観に配慮した河川改修事業の取組みについて	関東	利根川水系 井野川	補助(1級)	94.85 km ²	中小河川	260～390m ³ /s (W=1/30)	1	カバハシ 高橋 タクミ 拓巳	群馬県	県土整備部 高崎土木事務所	・用地買収を行わない河川改修 ・周辺環境との調和、多自然川づくりの実施
3	天竜川における河原植物の保全について	中部	天竜川水系 天竜川(上流)	直轄(1級)	5090 km ²	大河川	4000m ³ /s (W=1/50)	1	カワセ 川瀬 フシ 太志	中部地方整備局	天竜川上流河川事務所	・自然再生事業(レキ河原再生)で寄り州の切り下げを行っている箇所 ・レキ河原に生息する希少植物(ツツザキヤマジノギク)の生育環境保全も兼ねている
4	特別天然記念物アユモドキに配慮した桂川及び支川(七谷川)の河川整備	近畿	淀川水系 桂川	補助(1級)	796 km ²	大河川	2500m ³ /s (W=1/30)	2-1	コミナミ 小南 ハルユキ 晴之	京都府	南丹土木事務所	改修工事に際して、国指定天然記念物であるアユモドキに配慮した整備を、専門家の意見を取り入れながら実施する。
5	大和川らしい河川環境を目指して～自然再生計画を更新～	近畿	大和川	直轄(1級)	1070 km ²	大河川			サカモト 坂本 タツヤ 竜哉	近畿地方整備局	大和川河川事務所	・都市化・人口増加が進み、水質悪化・動植物の生息環境等が減少。 ・水環境改善に関する事業の効果により、水質は環境基準を満足する状況 ・自然再生は、試行的に実施した各種整備が効果を発揮。 ・全川への水平展開に向け自然再生計画を見直。 ・最新の知見に基づいた整備・保全目標を設定。
6	旭川の歴史的風土を活かした内山下地区の川づくり	中国	旭川水系 旭川	直轄(1級)	1810 km ²	大河川	4000m ³ /s	2	たむら 田村 なおや 尚也	中国地方整備局	岡山河川事務所	旭川内山下地区は周辺に岡山城や後楽園があることから、景観に配慮した河川整備が求められている。既設の石積み護岸の一部は、国指定の史跡のため地形改変が困難であることから、堤防構造検討にあたっては景観及び史跡、河川工学など各専門家による委員会を設け各段階において助言等を頂きながら設計検討を行った。委員会では、護岸構造の決定や、平面二次元流況解析結果の確認、景観検討として石積み護岸の検討を行った。既設石積みについては、埋蔵文化財調査やUAV写真測量を実施し堤防整備による影響について検討を行った。
7	初崎堤防工事における文化的景観に配慮した護岸構造の工夫	四国	渡川水系 四万十川	直轄(1級)	2186 km ²	大河川	13400m ³ /s (W=1/30)	2-1	ヤマサキ 山崎 クミコ 久美子	四国地方整備局	中村河川国道事務所	初崎地区において、四万十川下流域に関する景観関連計画に配慮した堤防景観を確保した護岸構造の取組事例について報告する。
8	遠賀川流域におけるエコロジカルネットワーク再生の取組について	九州	遠賀川水系 遠賀川 彦山川 犬鳴川	直轄(1級)	1026 km ²	大河川	遠賀川：日の出橋 (基準地点) 3,800m ³ /s (W=1/40)	2-2	宮原 彰	九州地方整備局	遠賀川河川事務所	遠賀川流域では、川の横断的連続性の再生と川表・川裏排水路の環境の多様化を図り、農業用水路や氾濫原環境と関連性の強い生物の生息・生育環境を創出するエコロジカルネットワーク再生事業に取り組んでいる。今回は、官民連携、高水敷幅の違に対応した川表排水路の整備事例、樋門ゲートの無動力化に対応した段差解消の整備事例、環境への効果と人の暮らしへの効果等について紹介する。